



HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	都市社会学：昭和28年度特殊講義案
Author(s)	鈴木，栄太郎
Description	東洋大学社会学部大学院社会学研究科講義案。雑。
Issue Date	1953
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/77382
Type	manuscript
File Information	N023_01S28.pdf



NOTE BOOK

Special Quality

都市社会学

二十八年
矢野龍溪著

九



No.123

123

HIGH CLASS

天竺田舎

こゝはシタール(Citadel)と云ふ。
 シタールはシタールの意。
 郡ナリ地である。セシターであるから
 シタールと云ふ。外し
 おた(タイ)の程なと
 云ふ人もあつた。ウイラはVillageの
 意。
 この地(国)のまゝには改むシタール
 ナリとある。あつた。

全郡内

人口約二万の内は市街地約三百戸

ツラナル、サントイサ、トイハ、市街地

同知の郡ナリ地

今ナリ地

郡ナリ

郡ナリ

郡ナリ

郡ナリ

郡ナリ

郡ナリ

郡ナリ

郡ナリ

郡ナリ

郡ナリ

郡ナリ

工業が都市のいかに環境

田園都市や衛星都市の配置の
中にも工業の場として工場が考へられ
て居る。都市であるからには密着生活
が要求され、土地を広く使用する必要
の如きは都市の生活としては不適
切である。狭小土地の上での生活で
は、多量の人が希少になるものは工業が
営むに適して居る。

又古い封建都市から製造園とい
ふ都市へ至る。工業は商業を伴
ふゆゑからいへば、商業が盛んなところ
の近くでなくならねばならぬ。

すよものなまの。下駄履は高きと
し。この下駄をその木に高きと合
せあるか。はな緒をつけと着る。合
が品しき。一すしたか。工である。
銘店も原料の金に加工し
て経費するもの。

桃へものを仕立てるは金匠の女。
原料の木。下駄。総ては金匠。
りは一機のか。工である。工場。
金匠。品をその木に高きと合
せあるか。はな緒をつけと着る。合
が品しき。一すしたか。工である。
銘店も原料の金に加工し
て経費するもの。

知るところ。眞ん中かお作りにしたり
煮付けたり、奥肉を煮返さう、かこ
すのも然り。靴履がこれによつてその
人々に分れるのを作つて、高きのは
最も^{パイン}人間的な意思である、
マスプロは、マスセリングでは完全
に非人間的である。

昔の工場や工業は、パインで、
華々たるインソーナルに、
今ではその両方を混在して居る。
工業が都市的と思はれるのは
都市の工業がパインな工業を

たつたの

業ねておる旧習の名残である。

産業以来工業と商業と分離し

てある。工業は農村に在りその右所

な土地を見出す場合がある。其工業

が後の競争より消費を以てその秘密

にするところから大きな消費体と

して都市的産業のよいお得意と

なりた。それ故都市を増大せし

める原因である。

要するに都市生活に適し土地を

広く用ひたつた小規模な工業として

工業は都市的産業である。

来よ。

唯あき

け水とて商業の如くその生業が人
を相手とするもので、人を相手とし
ては存し得ない生業は、人が多
く集まるよところ程有新である。
それと農業の如く人を相手としな
い余分に生産したものは水を賣る
格な販売のものでは人が居ないと
して結構です。

商業と農業の中間に格々の生業
があつて人を相手とするものの
数が多いものと水を賣るもの
の色々な段階がありながら、

今日の生業は何れが生業もそれ
によつて金銭を以て生活の中を
生活物資の一掃をとつていふといふ
それと云つて違ふはなつて

その生業ははた何れも何れかの
方紋かや紋かあるか^①方紋か

よつて金銭を以ていふ物を方紋に
かつて金銭を以ていふものとかある。正

常かあるか。生業かあるか。正

常かあるか。生業かあるか。正

常かあるか。生業かあるか。正

常かあるか。生業かあるか。正

そのしの

と⁽³⁾勞役を希望に怠りて解わもの

との三種あり。(1)は農業^{牧畜も林業も}製造業

工業^{衛生}建設業 (2) 商業 (3) は職人や

官公吏を俸給を生活する。

右の四節も人を相手とするのは(2)と

(3)であらう。(1)は(2)の性質を帯い

ると共に对人的な性質、又は(2)を

助長せしむるものなり。

その对人的性質が都市的となる。